

# NSP Freshman 120分耐久レース

黄色部 2023 シーズン変更点

## レース内容

●10:00~10:30 受付⇒●10:30~ドライバーズミーティング⇒●車両抽選⇒●練習兼タイムトライアル15分間⇒●120分耐久レース  
※練習兼タイムトライアルは全員乗車すること。

## スタート (NSP式1列ローリングスタート)

以下、スタート手順

○グリッド整列

↓

○1~3周目ヒーティングラップ(季節により周回数は変動)

※尚、ヒーティングラップ中にスピンした場合は最後尾に回ることとする。

↓

○4周目フォーメーションラップ

ヒーティングラップの終わりにコントロールラインからイエローフラッグを出しますので、そこからは速度を緩めてください。

先頭車両は1コーナーからは速度を落とし、いつでも隊列を作れる状態にしてください。

先頭車両がS字を抜け、追い越し禁止解除ラインに差し掛かるタイミングで徐行状態にし1列の隊列を作ってください。

後続のドライバーは前車と間隔を空けずにトレイン状態で続けてください。  
(この際、前の車をコツコツ押ししてしまうと車間や車速が乱れてしまうので一定の速度と車間で隊列を組めるようお願いします)

各車ヘアピンを通過後、隊列が整ったとスタッフが判断をしたらグリーンフラッグを提示します。(不整列の場合はもう1周の合図)

グリーン提示後も徐行をキープし、指定された加速ゾーンの中で先頭ドライバーの任意のタイミングで加速を開始、レーススタートとなります。

但しコントロールラインを通過するまでは前車を追い抜いてはならない。

追い抜きが発見された場合はフライング扱いとなります。

また、コントロールラインを通過するまでは4本引いてあるコリドーラインの内、(コースイン側の線を1番線とした場合)2番線と4番線の間の範囲内を通過すること。

尚、ヒーティングラップ、フォーメーションラップ、スタートラップはショート

コースを通過することとする。

※加速ゾーンはホームストレート上右手のコーン1本目からその先の2本目のコーンの間に設定します。

## ドライバーチェンジについて

・ピット回数は各チームの体重の平均にて回数を設定します。

55kg～60 kg未満→8回      60kg～65 kg未満→7回

65kg～70 kg未満→6回      70 kg～→5回

・優勝経験チームは上記回数より+1回のハンディを負うことで優勝時と同一メンバー構成での再エントリーを認める。(最大+2回まで可)

※但しチームメンバーが上級カテゴリーでの活躍が見られる場合は不可の場合もある。(運営判断)

・デジタル式の体重計にて当日、受付の際に計測を行います。

・チームの平均体重は計算後、小数点以下2位を四捨五入し0.1kg単位で決定する(女性は一律60kgで計算します。)

※ 体重測定は1回のみ。(調整不可)

※チームの最低平均体重を55kg以上とする。

(平均55kgに満たない場合は最軽量ドライバーがウエイトジャケットにて調整)

・各チームドライバーの走行時間の規定について

**1人当たりの最大走行時間はレース時間÷参加人数の120%までとする**

(例：120分÷2人の120%で1人のドライバーは72分以上走行できない。)

走行時間の管理は受付にてチェックシートで管理しますので、降りたドライバーは交代後2分以内に受付にて申請してください。

※フィニッシュドライバーもゴール後に申請すること。(2分制限は無し)

時間が過ぎてしまっていたり記入漏れがあった場合、規定走行時間を超えてしまった場合には、1周回減算とします。

・スタート後5分間及びレース終了10分前はピットクローズとなります。

## ドライバーチェンジの注意点

・ピットレーン内に一時停止用のラインを設けてありますので、必ず0km停車(エンジンは掛けたまま)の上でドライバー交代エリアに進んでください。(停止ライン及び交代エリアラインをオーバーした場合や、タイヤロック、停止不足が確認された場合は警告となります)

※同時にピットインした際も後続の車両は必ず停止ラインで停車して下さい。

また、停止ライン上でのドライバー交代も認められません。

※交代エリアでは最大2台までドライバーチェンジ可能です。

→同時ピットの場合、前の車両がコースインしましたら後続の車両は前に詰めるようお願いします。

・ピットインした車両のチームメンバーによる停止補助を禁止とする。

・ドライバーチェンジは、交代エリアにて停車し、エンジンOFFで交代する。

- ・ドライバーチェンジ時は、必ず左降車、左乗車とする。(左フロントタイヤと左リアタイヤの間)※後ろから乗り込むのは禁止とする。
- ・ドライバー交代後車体を後ろから押す等の行為は禁止とします。
- ・ピットでは不要に留まらないよう、乗り終えたドライバーも素早くピットから離れて下さい。
- ・ **ドライバーチェンジを終えエンジンを始動したらコースインして**

**ください。※旗止めによる制止はありません。**

**但し、コースインラップ(ピットアウトラップ)は60秒以上のタイ**

**ムでコントロールラインを通過させるように各チームはピット内**

**で調整してください。(1秒以内の誤差は未遂に留めますが、累積2でSTOP/GO**

**ペナルティとなります)←コース上などで発生した通常の警告とは区別されます。**

※仮に基準タイムより速く通過してしまった場合はSTOP/GOペナルティを科します。

当該チームには黒旗とピットインボードの併用により知らせますので、次のドライバーチェンジ前までに消化してください。(最終ピットだった場合はゴールまでに消化)※一時停止ライン及び交代エリアにて停止すること。

STOP/GOペナ覚悟で意図的にタイム調整を行わない行為が見られた場合はゴール後1周減算のペナルティを科します。

コースインの際、1コーナーの頂点に設置してあるパイロン付近まではアウトラインをキープしてからレコードラインに戻るようになしてください。

また、コースを走っているドライバーに対しても「これからカートがピットアウトしますよ」という合図をビレルフラッグを振ることで知らせますので、その際はストレートエンドをミドルラインで走り、ピットアウトするカートに対して進路を空けるようお願いします。

尚、安全を考慮してビレルフラッグが降られてる際の1コーナーでの追い越しは禁止としますので、追い越しを仕掛けようとしていた車両は一度下がるようお願いします。(警告対象)

- ・スタッフがレース走行中のカートの走行状態が異常と判断した場合、サインボードにてカートナンバーを提示しますのでドライバーは確認でき次第、1周コースを走行してから、後方車両に合図をしてピットインして下さい。

## 警告 (白黒フラッグ)

- ・スタート手順違反の場合。(コリドーラインはみ出しなど)
- ・コース外走行(状況による)
- ・過度のブロック、パイロンタッチ、ピット内タイヤロック。
- ・ドライバーチェンジ時右側から乗降車した場合、後ろから乗った場合。
- ・その他競技長の判断で警告が出る場合があります。
- ・警告は2回警告で1ペナルティとなります。

### **ペナルティ (黒のフラッグ)**

- ・スタート時のフライング判定が出た場合。  
→加速ゾーン前での加速やコントロールライン通過前での追い越し
- ・後方からの過度のプッシング(順位が入れ替わらない場合でも)。
- ・競技長が危険行為と判断した場合。
- ・ペナルティは各レース終了時に暫定結果より1周回減算。
- ・ピットアウト時の接触はより重度の違反として2周回減算。

※減算させる周回はレース終了後、チーム内タイムのファステストラップから順に消去する。

### **赤旗**

- ・赤旗が出た場合、赤旗が出る前週のコントロールライン通過順位でグリッドに並び、リスタートする。  
リスタートは1列ローリングにてリスタート。

※レース中予期せぬ事態が発生した場合、円滑な進行の為にレギュレーションの枠外での対応を取る場合があります。

※この規則はシーズン途中であっても、オフィシャルの権限により変更することができることとする。